

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主防災体制整備事業						担当部	消防本部		
	会計区分	一般会計			事業類型	実施計画事業以外		担当課	消防総務課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降		担当係	消防係		
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		3 消防・救急		3 自主防災会活動を活性化します				
		副目的	1-1						実施計画対象		
	予算区分	款	9	項	1	目	5	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	地区住民へ大地震時の火災等に対して、街頭消火器による初期消火活動を促進する。 自主防災会活動支援補助金制度を活用することにより、自主防災会活動の向上、市民の防災に対する意識の高揚及び普及を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆平成26年度実施内容 アパート、マンションなどを除いて約10世帯に1本の割合で街頭消火器を設置している。各自主防災会で自主的に点検を実施していただくとともに、消防職員により年2回の点検を実施、破損、盗難等への対応や消火器の使用期限の確認を実施し、使用期限を経過した消火器の更新を行った。また、市民からの連絡に対しては設置場所へ出向いて、破損・紛失した消火器や収納ボックス等を点検して、交換や修理補修等の対応を行う。 地区防災訓練を実施し、自主防災活動支援補助金制度により申請のあった自主防災会に補助金の交付を行った。</p> <p>◆平成26年度直接経費の内訳 需用費(消耗品費及び食料費等)(4,640千円):(内消火器更新1,480本) 役務費及び備品購入費(2,317千円) 補助金(2,538千円):(自主防災会活動支援補助金)</p> <p>◆平成27年度直接経費の内訳 需用費(消耗品費及び食料費等)(1,348千円):(内消火器更新88本) 役務費及び備品購入費(315千円) 補助金(6,904千円):(自主防災会活動支援補助金)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額		
コスト	費用	直接経費		千円	8,090	9,453	9,495	8,567
		正職員	従事者数	人	0.95	0.95	0.95	0.55
			人件費	千円	4,997	4,997	4,997	2,893
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.35
			人件費	千円	0	0	0	717
		費用合計		千円	13,087	14,450	14,492	12,177
	対前年比		%		110.4	100.2	84.0	
財源	一般財源		千円	13,087	14,450	14,492	12,177	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	績	街頭消火器の設置	本	目標	3	13	1
実績				3	13	0	
業	街頭消火器の更新	本	目標	84	111	1,480	88
			実績	84	111	1,480	
績	自主防災会活動支援補助金件数	件	目標	—	—	130	128
			実績	—	—	46	
業	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	街頭消火器の設置(累計)	本	目標	4,323	4,325	4,326	4,330
実績			4,323.0	4,325.0	4,325		
績	自主防災会活動支援補助金額	円	目標	—	—	6,794	6,772
			実績	—	—	2,538	

事業の自己評価	平成26年度の事業の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>事業実施における課題</p> <p>事業を縮小・廃止したときの影響</p>	<p>平成26年度は計画どおり街頭消火器の更新を実施し、有事の際の初期消火に役立たせることができる。</p> <p>平成26年度から、各自主防災会が自主的な防災活動を推進するため、防災資機材の整備、地区防災訓練等に対して必要な資機材等を購入するために、小牧市自主防災会活動支援補助金制度を制定し、市民の防災に対する意識の高揚及び普及を図ることができた。</p> <p>現在は単独の自主防災会ごとに実施している地区防災訓練を小学校区単位で実施するように広く周知し、共助の意識の高揚を図るよう呼びかけを継続していく必要がある。</p> <p>事業を廃止することにより地域の自主防災能力の低下に繋がる恐れがあるととも、市民の防災意識の低下に繋がる。</p>	
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	自主防災会活動を通じて市民の防災意識の高揚に繋がるよう維持する。	
	平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	平成26年度より運用を開始した小牧市自主防災会活動支援補助金要綱を継続していく。	
	28年度以降の改善案	平成26年度に制定した小牧市自主防災会活動支援補助金交付要綱では、小学校区単位で訓練を実施した自主防災会を対象とした。ただし、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの間に単独の自主防災会で訓練を実施した場合、補助限度額を段階的に引き下げることとしている。このため、今後は各自主防災会に小学校区単位での訓練を実施していくよう、進めていかなければならない。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。各地域での自主的かつ効果的な防災活動や市民の防災に対する意識の高揚に繋がるよう啓発を行うこと。